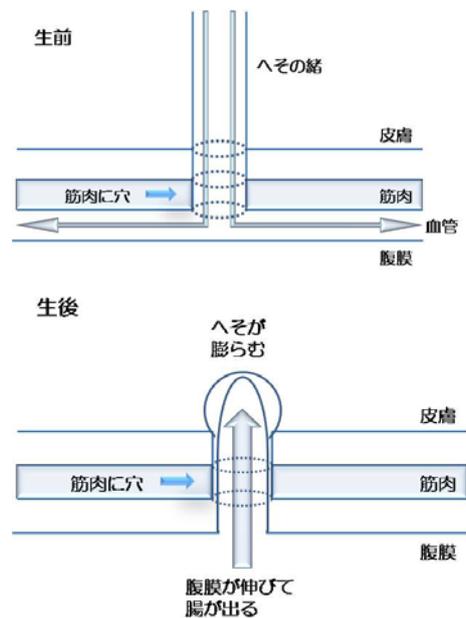


臍ヘルニア(でべそ)

〈臍ヘルニアとは〉

俗に言う「でべそ」である。胎児のへその緒の中には3本の重要な血管が通っている。胎児のへその下の筋肉には穴があり、血管はその穴を通過して筋肉と腹膜の間に入っている。筋肉の穴が閉じると胎児は生きられないので、へその下の筋肉の穴は絶対に必要である(右図)。

生まれた後はへその緒が切り離され、へその緒の血管は不要になる。へその下の筋肉の穴は自然に閉じてへそは引っ込む。赤ちゃんはおなかがポッコリ出ているのでよく泣くので、筋肉の穴が閉じる前に腹膜が伸ばされてへそが膨らむ(右図)。したがって泣いて腹圧が上がればへそは大きく出るし、眠って安静の時はへそが縮む。膨らんだり縮んだりすることは、ほとんど心配ない。



〈臍ヘルニアの経過〉

筋肉の穴の直径が3cm以下であれば、2歳までに90%の確率で治るとされているので、手術は1歳半以降に行うようにしている。

〈圧迫法について〉

昔から「へそに5円玉を当てて圧迫すると治りやすい」という治療が一部で行われていた。最近、「へそに綿を詰めてテープで押さえると治る時には引っ込んで治りやすい」とされ、一部の施設で行われている。治る時にはきれいに治りやすいとされているが、放っておいても90%治るとされているし、テープの貼り替えやかぶれ、はずれた時の対処など煩雑な面もあるので、賛否両論である。

〈手術(臍形成術)とは〉

へそを造る手術である。手術の適応は「美容上の問題」であるので、全身状態がいい時にいつ行ってもよい。本人が気にしたり引っ張ったり、幼稚園や学校でいじめられたり、などを考えると2~3歳頃がよいと思う。傷の痛みも大きい子の方が強いので、嫌な思いが記憶に残る前にやってしまいたい。遅くて手遅れになることはない。

手術では、まずへその中を縦に切開してへその裏をはがす。筋肉の穴が原因なので、筋肉の穴を閉じてからへその皮膚を裏返して筋肉に固定し引っ込める。あとは傷を細い溶ける糸で縫って終了する。糸は埋めるように縫うので、表面に糸はなく抜糸もいらない。体表だけの手術で1時間以内に終わるので、ほとんど日帰り手術でできる。

＜＜手術の危険性＞＞

- ①全身麻酔: 死亡率 10 万回に 1 回程度とされている。当院では 500g の低出生体重児から 90 歳すぎの高齢者まで、1 年間に約 1000 件の全身麻酔を行なっているので、単純計算では 100 年に 1 回程度の危険性である。子供たちが暴れると危険であるし、つらくてかわいそうなので全身麻酔が必要である。
- ②感染: 傷が化膿する。確率は数%程度とされている。術後は感染予防のために抗生剤を飲む。それでも感染した時には、傷を少し開いて膿を出す処置が必要である。
- ③その他: ほとんど合併症はない。

＜＜日帰り手術について＞＞

原則として月、火、水、金曜日の午前中に行う。ほとんどが日帰り(1 日入院扱い)だが、術後 1 泊してもよい。日帰りか 1 泊 2 日かは、年齢、家からの距離、ご家族の都合などを考慮して決める。手術希望日は来院時に決めてもいいし、2、3 の候補日を選んでから電話で決めてもいい。麻酔に必要な検査(血液検査、胸部レントゲン、心電図)は 2 カ月以内に行う。あとは手術の数日前に麻酔科外来(月～金の午前 8:30)を受診して診察と説明を受ける。

＜＜予定を立てた後に病気をした時＞＞

すぐに連絡する。発熱、ひどいせき、ひどい鼻水などは麻酔の障害になるので、状況によっては一度延期して、治ってから予定を立て直した方が安全である。

＜＜ワクチンについて＞＞

ワクチンを受けた後は 1～3 週間あいたをあけてから手術する。ワクチンによって発病したり、ワクチンの効果が弱くなったりすることがありうる。期間はワクチンの種類によるので、外来で相談する。術後のワクチンは 1 週間を過ぎて全身状態がよければ受けられる。

＜＜手術当日のスケジュール＞＞

- ①麻酔科医から説明される手術前夜と当日朝の絶飲食の指示を守る。麻酔をかける時に胃に物が入っていると、吐いてつもらせる危険性がある。
- ②入院受付に 8:30 までに来る。その後外科・小児外科外来で簡単な診察をしてから着替える。手術室へは 9:00 か 10:30 頃に入室し、1 時間半前後で手術が終了して病棟に入院する。
- ③手術が終わった直後は、まだ麻酔がさめきっていないので異常に興奮していることがあるが心配はない。少し騒いだ後に 3～4 時間眠ると完全にさめる。さめた後は飲んだり食べたりでき、その時点で点滴を抜く。その後退院手続き、抗生剤の受取、次週の外来予約をして退院する。
- ④傷に消毒やガーゼはいらない。当日から入浴可能で、食事制限や運動制限もない。

＜＜術後経過＞＞

術後 1 週、1 カ月、6 カ月に外来で形をみる。へその形は背が伸びたり太って皮下脂肪が増えたりすると変わるので、なかなか評価は難しい。なるべく小さくて縦長のへそを目指して造っている。